

学校法人 兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



西宮キャンパス

兵庫医科大学 兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
☎0798-45-6111 (代)
<https://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)
<https://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)

兵庫医科大学

健康医学クリニック

〒663-8137 兵庫県西宮市池開町3番24号
☎0120-682-701
<https://www.hyo-med-kenshin.com/>



神戸キャンパス

兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
☎078-304-3000 (代)
<https://www.huhs.ac.jp/>



篠山キャンパス

兵庫医科大学

ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡5番地
☎079-552-1181 (代)
<https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

兵庫医科大学

ささやま老人保健施設

兵庫医科大学

ささやま居宅サービスセンター

〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡36番地
☎079-552-6840 (代)
<https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

< 広報誌の送付先変更や配送停止に関するお問合せ >

【兵庫医科大学 卒業生（緑樹会会員）の方】

兵庫医科大学 同窓会緑樹会
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
兵庫医科大学 教育研究棟 3階
☎0798-45-6448 (平日13:00～17:00)
✉ryokuju@hyo-med.ac.jp

【兵庫医科大学 保護者の方】

兵庫医科大学 学務部 教学課
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
兵庫医科大学 教育研究棟 2階
☎0798-45-6159 (平日8:30～16:45)
✉kyo-gaku@hyo-med.ac.jp

【兵庫医療大学 卒業生の方】

兵庫医療大学 キャリアデザインセンター
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
兵庫医療大学 M棟 1階
☎078-304-3100 (平日8:30～17:00)
✉careerdesign@huhs.ac.jp

【兵庫医療大学 保護者の方】

兵庫医療大学 学生支援課
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
兵庫医療大学 P棟 1階
☎078-304-3007 (平日8:30～17:00)
✉gakuseishien@ml.huhs.ac.jp

【その他の方】

学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
☎0798-45-6655
✉kouhou@hyo-med.ac.jp

学校法人 兵庫医科大学 広報誌

兵医広報 vol.252 (2021 WINTER)

発行日／2021年1月4日
発行元／学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課

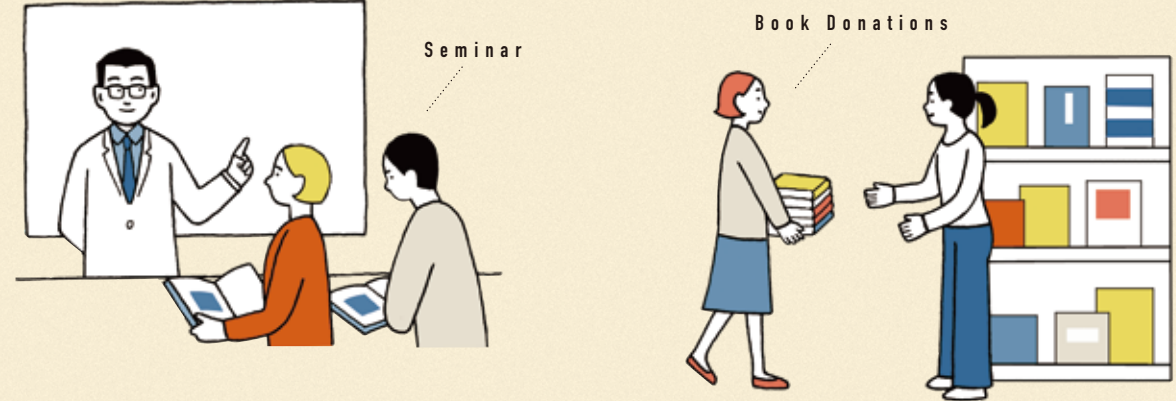
兵 医 広 報

2021
WINTER
vol. 252



特集1

在学生とセンパイたちの つながり





特集1

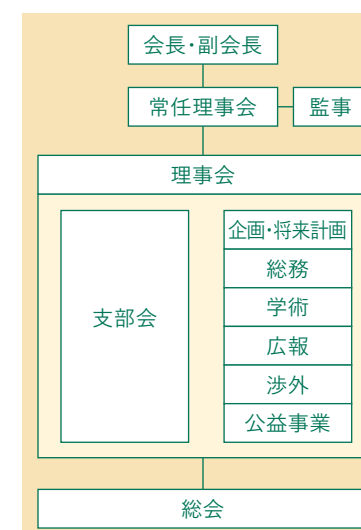
在学生とセンパイたちの つながり

学校法人 兵庫医科大学は1972年の開学以来、数多くの卒業生を輩出してきました。
そしてその卒業生たちがそれぞれのフィールドで活躍するだけでなく、
在学生にも多大なサポートをしてくれています。今回は同窓会の概要とそのサポートの一部をご紹介します。

兵庫医科大学同窓会 緑樹会の概要

設立 1979年
会員数 4341名
(2020年12月1日時点)
会長 石蔵 礼一

●組織図



主な活動

① 会員支援

- 顕著な成果を挙げた会員の表彰
- 緑樹会学術奨励賞授与
- 緑樹会学術セミナー開催 など

② 学生支援

- 白衣授与式白衣半額負担
- 大学祭助成
- 卒業記念品贈呈
- 国試対策画像診断セミナー開催 など

③ その他活動

- 全国22支部での支部会活動
- 全国私立医科大学同窓会連合会参加
- 定期理事会(年4回) など

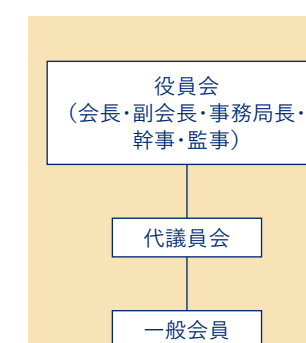
支部会一覧

- 緑兵会(学内) ●北海道支部
- 東北支部 ●関東支部
- 京都支部(京都緑樹会)
- 奈良支部(緑奈会)
- 大阪支部(大阪緑樹会)
- 尼崎支部(緑尼会)
- 西宮支部(緑西会)
- 神戸支部(神戸緑樹会)
- 宝塚支部(宝樹会)
- 伊丹支部(緑伊会)
- 川西・猪名川町支部(緑川会)
- 兵庫北部支部(緑丹会)
- 和歌山支部(緑和会)
- 明石支部
- 淡路島支部(淡路島緑樹会)
- 岡山支部(岡山緑樹会)
- 福岡支部(福岡緑樹会)
- 大分支部(緑分会)
- 鳥取支部(鳥取緑樹会)
- 島根支部(神々しまね緑樹会)

兵庫医療大学同窓会 海鳥会の概要

設立 2014年
会員数 3025名
(2020年12月1日時点)
役員構成 会長(1名)
副会長(2名)
事務局長(1名)
幹事(8名)
監事(3名)
会長 澤田 友宏

●組織図



主な活動

① 会員支援

- 同窓会・ホームカミングデー開催(年1回)

② 学生支援

- キャリア支援の会
就職支援セミナー開催
- 書籍寄贈
- 卒業生への贈答品

兵庫医科大学同窓会

緑樹会のサポート紹介

設立から42年となる兵庫医科大学同窓会 緑樹会は、卒業生である会員同士のつながりの維持や学術奨励などに加え、いずれ仲間となる在学生に対しても支援を行っています。

国試のための画像診断セミナー

毎年1月、国家試験を控えた6年次生を対象とした「画像診断セミナー」を開催することで、難関である医師国家試験に臨む在学生を応援してくれています。

セミナーではその年の国家試験で出題される画像診断に関わる問題を予想し、放射線科の医師でもある石蔵 礼一会長が画像を使ってわかりやすく解説。毎年、多くの6年次生が受講しています。

今年度は2020年12月9日に講演を実施し、国家試験に出題されそうな疾患について、症例の画像解説が行われました。また、

復習として正常CT解剖の水平断像、冠状断像について、MRIでは各撮影シーケンスの特徴について解説がありました。



緑樹会学術セミナー

緑樹会では、会員の中からさまざまな分野の専門医をお招きし、臨床現場で役立つ最新の情報などの講演を開催しています。内容は主に研修医向けのものですが、在学生でも理解できる内容となっています。

2019年1月24日に実施した学術セミナーでは川崎病院循環器内科 部長 西堀 祥晴先生が「高齢者のTotal Care～生活習慣病としての骨粗鬆症～」を、次に平川クリニック 院長 平川 一秀先生が「在宅診療の現状と病診連携について」を発表されました。

また特別講演として、兵庫医科大学 内科学 呼吸器科 木島 貴志主任教授が「肺癌患者のTotal care病診連携における疼痛コントロールとVTE治療」をテーマに講演しました。



第9回 緑樹会 学術セミナー	「最新の不整脈デバイス」 兵庫医科大学 内科学 冠疾患科 貴島 秀行先生 「脳卒中治療の最前線－急性期脳梗塞に対する再開通治療を中心に－」 合志病院 脳神経外科部長 桧山 永得先生
第10回 緑樹会学術セミナー (高齢者の医療連携を考える会)	「兵庫医科大学との医療連携について」 はまおかクリニック 院長 濱岡 守先生 「在宅診療の現状と病診連携について」 西岡医院 副院長 西岡 啓介先生
第11回 緑樹会 学術セミナー (高齢者の医療連携を考える会)	「高齢者のTotal Care～生活習慣病としての骨粗鬆症～」 川崎病院 循環器内科 部長 西堀 祥晴先生 「在宅診療の現状と病診連携について」 平川クリニック 院長 平川 一秀先生
第12回 緑樹会 学術セミナー (高齢者の医療連携を考える会)	「脳卒中治療と大学病院との連携について」 合志病院 脳神経外科 副院長 沖 良春先生 「大学病院との医療連携について」 児玉医院 院長 児玉 岳先生

過去に実施した学術セミナー(所属は講演当時)

早期臨床体験実習の受け入れ

2年次に行う早期臨床体験実習については、緑樹会の会員が運営する診療所などに学生を受け入れていただいています。医学教育センターと緑樹会が連携して、開業している会員へ受け入れ可否についてのアンケートを実施し、ご快諾いただいた診療所へ学生の派遣を行っています。受け入れ先は通学が可能な大阪府と兵庫県(阪神間)が中心で、例年約40～50施設にのびります。

- 足立病院
- 医療法人池岡診療所
- 伊東外科医院
- いわた整形リウマチクリニック
- 樹徳会 上ヶ原病院
- 上野クリニック
- 大井クリニック
- 医療法人オーク会
オーク住吉産婦人科
- 大橋内科
- 岡記念病院
(南河内おか病院)
- 医療法人博信会
おざわ内科クリニック
- かとうクリニック
- 木内女性クリニック
- 医療法人社団
敬誠会 合志病院
- 医療法人社団 児玉医院
- 斉藤皮フ科クリニック
- さくらホームケアクリニック
- 医療法人社団
沢井クリニック
- 医療法人聖心会
清水クリニック
- 医療法人杉本医院
- 医療法人
瀬尾記念会瀬尾クリニック
- 谷口医院
- たにざわこどもクリニック
- 医療法人社団
長谷部クリニック
- 医療法人徹樹会 福渡医院
- 藤川クリニック
- 藤原医院
- ふみのレディースクリニック
- ほしな眼科クリニック
- 医療法人社団
堀川クリニック
- まえかわこどもクリニック
- 真城こころの診療所
- 榎谷医院
- まつだ整形外科クリニック
- マムクリニック
- 医療法人社団
御影ごきげんクリニック
- むとう耳鼻咽喉科クリニック
- 元林産婦人科内科
- 医療法人森川医院
- 医療法人社団 優会よしおか
クリニック 泌尿器科
- 社会医療法人榮昌会
吉田病院

受け入れにご協力いただいた施設(2020年度)

白衣授与式の白衣費用補助

臨床実習を控えた4年次生を対象に行われる白衣授与式では、贈られる白衣の費用の半額を緑樹会が負担しています。白衣には兵庫医科大学の誇りを胸に頑張りたいとの想いを込め、緑樹会のシンボルマークを刺しゅうしています。



贈答品など

国家試験を受ける6年次生への合格祈願鉛筆(令和2年度は新型コロナウイルス流行の影響によりQUOカードに変更)や、卒業記念品として印鑑を緑樹会から贈呈。また大学祭や卒業式と同日に行われるパーティーへの支援を行っています。



同窓会長より在学生の皆様へ

兵庫医科大学同窓会 緑樹会 石蔵 礼一会長

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教室での授業や大学祭、クラブ活動など、制限された生活を送られていると思います。しばらくはwithコロナで学生生活が続くと思いますので、くれぐれも健康には注意してください。

学生のうちは毎日同じ教室に通い、毎日同じ席に座ることと思いますが、卒業したら同じ学年の友達と会うのはなかなか難しくなってくるでしょう。そんなとき、相談する相手として頼りになるのは、や

はり同じ学校を卒業した先輩たちです。

兵庫医科大学にはそれぞれのフィールドで頑張っている多くの卒業生がいます。クラブ活動や研究室の先輩はもちろん、臨床実習などで卒業生と知り合うこともあるでしょう。ぜひそのつながりを大切にしてください。

そして、卒業した際は緑樹会のシンボルマークを胸に、兵庫医科大学の卒業生として誇りをもって頑張ってください。



兵庫医療大学同窓会

海臈会のサポート紹介

兵庫医療大学の開学は2007年。開学当時は知名度も低く、就職などでは大きなハンディキャップもありましたが、現在では卒業生の活躍やサポートで、医療総合大学としての確固たる地位を築きつつあります。困難な道を切り拓いてきた先輩たちの、在学生を応援する活動をご紹介します。

キャリア支援の会 就職支援セミナー

兵庫医療大学のOB・OGが中心となり行っているセミナー。1期生が自らの就職活動で苦労したことから、「後輩に同じ気持ちを味わってほしくない」という思いで大学のキャリアデザインセンターに直訴し講演したのが始まりです。キャリア支援の会として発足してから、2020年度で3年目を迎えます。

キャリアアドバイザーの資格を持つ講師やゲストOB・OGが、自身の就職活動の体験談や就職後のキャリア、仕事内容などについて語る内容で、やりたい仕事の見つけ方や就職活動のポイント、就職後のキャリアなどのテーマでご講演いただいています。



ホームカミングデイ & 同窓会（懇親会）

毎年大学祭の初日に合わせて行われる兵庫医療大学ホームカミングデイと、卒業生による同窓会（懇親会）。ホームカミングデイでは、懐かしい教員や同窓生と交流を深める場を設け、2019年には卒業生や教職員向けに「仕事とプライベート、どう両立させてる?!」をテーマに4人の各学部学科の卒業生に講演いただきました。

例年ホテルにて行われていた同窓会（懇親会）ですが、2019年は趣向を変え、大学内のラウンジにて実施し、参加者は近況を報告しあうなど楽しいひとときを過ごしました。

（2020年は、新型コロナウイルスの影響によりホームカミングデイ、同窓会懇親会ともに中止となりました）



書籍寄贈

在学生や卒業生の学習・研究等をサポートするため、海臈会から200万円分の書籍や視聴覚資料を図書館に寄贈するプロジェクトが進行しています。高額な医療専門書なども含め、在学生、卒業生からリクエストを募るほか、教員にも学生におすすめの専門書などのリクエスト調査を実施。書籍などは2020年度末に図書館への配架を予定しています。



リクエスト件数
(上下やナンバー巻については1件としてカウント)

在学生	48件
卒業生	105件
教職員	228件
合計	381件

こんなところにも先輩とのつながり

勉強会

リハビリテーション学部 理学療法学科では、医療機関で働く卒業生が在学生の勉強会に来てくれ、実技を教えてくれることも。

職場の実臨床で学んだことを後輩たちに伝えています。



部活動

OBが部活動を訪問して一緒に練習したり、試合を行っている部活も。

引退して数年経っても、部活に顔を出しています！（バドミントン部OB）



贈答品

海臈会から卒業生へのお祝いとして、記念品を贈呈しています。



2019年度 卒業記念品

海臈会の歴史

海臈会は設立して間もないながら、「母校の発展に寄与したい」との考えから、多くの先輩が参加。今後も活動の場を広げていきます。

2010年 10月	2011年 3月	2011年 10月	2013年 3月	2013年 10月	2014年 7月	2014年 10月
準備委員会発足	同窓会立ち上げ	看護学部・リハビリテーション学部 第1期卒業生輩出	薬学部第1期 卒業生輩出	同窓会設立 発起人会発足	同窓会「海臈会」発足	代議員会・同窓会 懇親会を初開催

MESSAGE

同窓会長より在学生の皆様へ

ここ最近は新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、外出の自粛や授業の遅れなどで皆さん大変な状況かと思います。特に最終学年の方は苦労されていることと思いますが、今が踏ん張りどころですので、体調を崩さず無理のない範囲で勉学に励んでいただければと思います。困ったことがあれば、ぜひ同窓会を頼ってください。多くの先輩がいますから、一人では解決できないことでも、力になれるよう

兵庫医療大学同窓会 海臈会 澤田 友宏会長

頑張りたいと思います。

また、就職して社会人として生きていくスキルを磨くことも大切ですが、大学生活は今だけのものです。好きなことを目いっぱい楽しむことで磨かれるスキルもありますから、ぜひ全力で充実した大学生活を送ってくださいね。ホームカミングデイでお会いできるのを楽しみにしています。そして、ご卒業された暁には、ぜひ一緒に同窓会活動を行っていきましょう！





Seminar

White Coat Ceremony



Clinical Training



Homecoming Day



Book Donations



兵 医 広 報

学校法人 兵庫医科大学 広報誌
vol.252 2021 WINTER

CONTENTS

01 特集1 在学生とセンパイたちのつながり

08 特集2 2021年 年頭のごあいさつ

NEWS & TOPICS

- ・ 悪性中皮腫(胸膜以外)に対する医師主導治験を開始
- ・ 文部科学省が管轄する
ダイバーシティ推進の補助金事業に採択
- ・ 「ネット出願」を初導入
- ・ 2020年度認定看護師教育課程入学式を挙行
- ・ 受験生向けに「WEB入試相談」を実施
- ・ 「丹波篠山市地域医療関係者会議」を設置
- ・ 人命救助で警察から感謝状表彰
- ・ 特別病棟の室料を一部値下げ
- ・ オンラインセミナーを続々開催
- ・ 「2020年度白衣授与式」を挙行
- ・ 患児さんが「病室からトドにサインを出すツアー」に参加
- ・ 「シトラスリボンプロジェクト」手作りグッズが贈呈
- ・ 今年はオンラインで「WEB入試対策講座」を公開
- ・ 悪性中皮腫になりやすい遺伝子変異を発見
- ・ 病院職員が「病院経営管理士」に認定
- ・ オンライン講義に対する医学部生の本音を調査

卒業生 INTERVIEW

臨床医から、県庁勤務の産業医へ
子育てをしながらも医療業界に携わり続ける
兵庫県職員健康管理センター
職員診療所・健康なやみ相談室 所長
戎谷 亜希子さん(兵庫医科大学1997年卒)

HYO-i LAB -研究紹介-

異分野融合で臨床に応用を
企業との共同研究で大学が提供するものとは
兵庫医科大学 先端医学研究所
准教授 菊池 正二郎

のぞいてみよう 兵医の授業紹介

Road to 2026 ～「新病院棟」完成への道～

「患者さん」と「医療従事者」
どちらも笑顔になる病院棟を作りたい

知ってる?兵庫医療大学

法人からのお知らせ

人事情報

募金状況／主な行事予定(2月～4月)

特 集
2

2021年 年頭のごあいさつ

新たな年を迎えて



「開学50年」を 間近に控えて

学校法人兵庫医科大学 理事長 ^{たしろ} ^{ちから}
太城 力良

明けましておめでとうございます。2021年の年頭にあたり、
謹んで新年の寿ぎをお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対策に
迫られた1年でした。兵庫医科大学病院やささやま医療セン
ターでは「発熱外来」を設置し、救命救急センターでは他院か
らのPCR陽性の重症患者を受け入れ、人工呼吸器やECMO
での治療を行いました。また、COVID-19疑い患者の取り扱
いは、一般病棟の一部でも行いました。一方、兵庫医科大学、
兵庫医療大学では、学内での感染を防止するため、卒業式や
入学式の挙行を断念した結果、学生本人はもちろん、保護者
の方や教職員など皆が非常に残念な思いをすることになりま
した。

そのような中ではありましたが、クラブ活動の停止や多人数
での会食の禁止などを遵守してくれた学生の皆さんや、外来
患者の検温など感染防止対策に尽力してくれた教職員の努力
もあり、2020年12月17日現在、大きなクラスターの発生など
深刻な事態に陥ることはありませんでした。これも、感染のプ
ロである感染制御部をはじめ、ご尽力いただいた全関係者の
お陰と感謝しております。

さて、本法人は2022年4月に「開学50周年」を迎えます。
50周年記念事業の中核を成すのは、次の3つの取り組みです。

① 西宮キャンパスのグランドデザインの推進

昨年12月には「立体駐車場」と保険薬局を含む「デッキ棟」
が竣工し、今春には営業を開始します。その後は、既存の立体
駐車場および9号館を解体し、その跡地においていよいよ「新
病院棟」の着工が始まることになります。2026年に竣工した
暁には、高度先進的で感染に強い安全な医療環境を提供し、
救急医療・地域連携をさらに推進するとともに、患者さんやご
家族にやさしく、学生には十分な教育環境を提供でき、教職

員にとって働き甲斐がある病院が完成することでしょう。

② 兵庫医科大学と兵庫医療大学の統合

2022年4月に2大学を統合できるよう、本年中に文部科学
省へ認可を申請します。統合によって西宮・神戸・篠山の3キャン
パスを有機的に結ぶことで、病院を含む4学部間の連携が
強化され、One Teamとして教育や研究内容の質が高まるこ
とで診療レベルも向上するなど、本法人の未来に向けた新たな
ステージを生むものと期待しています。

③ 「健康医学クリニック」の移転

現在は西宮にある健康医学クリニックを、2022年秋に移転
する計画を進めています。このクリニックには最先端の診断
能力を有する機器を配備し、人間ドックや一般検診に加え3
室の専門外来を整備することで、兵庫医科大学病院の機能を
補完します。

21世紀に即した医学・医療の持続的展開と、それらを担い
得る高質な医療人の育成を使命とした医系総合大学をめざ
す本法人の未来は輝いています。しかし、少子化に伴う受験
者数の減少や私学助成金の減少、診療報酬の改定など、置
かれている経営環境が非常に厳しいものであることは否めま
せん。これらの苦境を乗り越えるには健全な財政基盤が不可
欠であり、そのためには教職員全員が自ら労働の質を高め、
ムリ・ムダ・ムラを省いた業務改善による生産性の向上が欠
かせませんので、自律する意識を一層高めることを求めてま
いります。

本年も、皆様方が健康で元気はつらつと過ごされることを
祈念するとともに、本法人のさらなる発展に向けてのご協力を
お願い申し上げ、年頭の詞とします。



一体感や帰属意識、 誇りを持てる大学をめざして

兵庫医科大学 学長 野口 光一

皆様、明けましておめでとうございます。新しい2021年が平穏無事な年になることを祈っております。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大で大変な1年でありました。この挨拶文を書いている時点では、第3波による感染の拡大が強く懸念されている状況ですが、学生諸君や保護者の皆様、卒業生の皆様、そして教職員一同が安らかなお正月をお迎えできていることを祈念しています。

本学では今後も最大限の対策・注意を継続することで、なんとか厳しい感染状況乗り越えて行きたいと考えています。こうした危機的状況に関わらず、兵庫医科大学の本質的意義である「教育」「診療」「研究」をしっかりと継続できるように、特に学生の安全と医学教育の充実にできる限りの多方面から注力を行って参りますので、関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、兵庫医科大学は、今まさに大きな変革の時代を迎えています。教育研究棟の使用は3年目となり、様々な調整を経てその運用も軌道に乗ってきました。デッキ棟および立体駐車場の建設工事も完了し、これから学生たちは美しいデッキ棟を通じて2階の正面玄関から教育研究棟に入ることになります。さらに、5年後の竣工をめざす新病院棟の建設計画や、現在は認可申請の準備中で来春の統合をめざす兵庫医療大学との統合準備、開学50周年の記念事業なども計画が進んでおります。

私が学長として最も重要な業務と認識しているのは、学生や保護者の皆様、全教職員が一体感や帰属意識をしっかりと持てるような誇りうる大学にすることです。皆様とともに開学50周年を一体感を持ってお祝いできるような、また、未来へ向けた大きな希望を持てるような大学にするために努力して参ります。皆様のご理解とともに、ご支援・ご協力の程お願い申し上げます。



「たし算」ではなく「かけ算」で 日本を代表する医系総合大学に

兵庫医療大学 学長 藤岡 宏幸

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、兵庫医療大学の教育・研究・大学運営などに多大なご支援を賜り、本当にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

昨年の新年挨拶では、「平成から令和の時代への変化に負けずに進化していく」と述べました。しかし、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で社会全体が普段の生活を送ることができず、新しい生活様式が模索され、大学でも想像以上の変化を求められました。本学でも、前期のはじめは「オンライン授業」を中心に実施し、7月以降、実習や実技、定期試験などを対面で実施しました。後期はさらに対面授業を増やし、対面とオンラインのハイブリッドで授業を行っています。また、国家試験対策についてもハイブリッド方式を活用し、きめ細かな指導を行っています。学生ならびに保護者の皆様のご理解・ご協力によりまして、順調にカリキュラムを進行することが

できております。本当にありがとうございます。

さて、兵庫医療大学と兵庫医科大学は2022年4月の統合をめざしており、文部科学省への申請が正式に認可されれば、医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の4学部を擁する新しい兵庫医科大学が誕生する予定です。ただ単に、約50年の歴史をもつ日本有数の医科大学である兵庫医科大学に兵庫医療大学を足し算するのではなく、若いながらもこれまで兵庫医療大学が培ってきた実績をかけ算するような革新的な統合を実践して、日本を代表する医系総合大学となるように努めます。

これまで以上に、質の高い医療職者養成の教育・研究体制の充実に尽力いたしますので、本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



新型コロナウイルス感染対策の鍵は “One Team”

兵庫医科大学病院 病院長 阪上 雅史

皆様、明けましておめでとうございます。病院長就任1年目となる2019年は、全職員が一丸となって予算を上回る収益を上げることができましたが、2年目の2020年は新型コロナウイルス感染症が広がり、感染対策を第一に病院運営を行ってきました。全職員にマスクの装着や手洗いを徹底させた結果、院内感染も発生することなく、外来・入院・手術も停止せずに10月まで乗り切ることができました。

11月に入って職員からPCR陽性者が出ましたが、感染制御部を中心にすぐに緊急対策会議を立ち上げ、濃厚接触者の陰性を確認するだけでなく、少しでも接触歴のある関係者に対しても遺伝子検査を実施しました。結果、「全員陰性」という結果を得て2日後には通常診療に戻すことができましたが、医師や看護師をはじめ、250人余を対象にした遺伝子検査を1日半のうちに実施した臨床検査技術部員の頑張りが非常に大きかったと思います。

こうしたチーム医療の連携で事なきを得たわけですが、最近の医療では医師が一方的に指示を出すのではなく、多職種が“One Team”で治療を行うようになっています。たとえば、新型コロナウイルスの重症患者が運ばれてきた場合でも、救急車の救急救命士、救命救急センターの医師・看護師、薬を処方する薬剤師、人工呼吸器やECMOを操作する臨床工学技士、検査を担当する臨床検査技師、肺CTを撮影する放射線技師、人工呼吸器離脱後の呼吸リハビリを担当する理学療法士、消毒を迅速に行う看護助手など、多くの職種が関わります。学生や若い医師には、こうした多職種チーム医療の現場を見てもらい、将来チーム医療のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

最後に、新型コロナウイルスによる感染が一刻も早く収束することを心より願いますとともに、2021年の皆様のご多幸とご健勝を祈っております。



ウィズコロナで理想の地域医療を

兵庫医科大学 ささやま医療センター 病院長 片山 寛

新年あけましておめでとうございます。昨年は「人類にとって100年に一度の経験」と言われている新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験し、様々な計画を変更せざるを得ない状況となりました。また、すべての医師が経験したことのない疾患とパンデミックの中で、地域医療も教育も大きく変わることが求められました。

臨床医には、経験を積んで熟練する「テクニカルエキスパート」と、これまでの知識と経験の振り返りから専門性を発揮する「リフレクティブ・プラクティショナー」の能力が求められますが、領域別専門医には前者、プライマリ・ケアや総合診療では後者の専門性がより大きく求められます。そのため、ささやま医療センターでは3年前から初期研修に外来研修を導入し、臨床実習でも外来診療での問診や臨床推論を重視してきました。

しかし、新型コロナウイルスにより、学生は患者さんとの面談ができない状況となりました。そこで導入したのが「ICTを使った医学情報検索の活用実習」です。日々の臨床で遭遇する疑問点を、どのリソースで、どのようなワードで検索すれば良いかを学ぶというもので、学生には2年目の研修医が外来研修をしている背中を見ながら準備をしてもらっています。また、病院職員全員がコロナ対応に協力する中で、研修医はその診療に参加して学び、学生は寮での生活自体を感染症の実習と捉えるように指導しております。

学生や研修医、職員が安全な環境で貴重な経験を乗り越えられるように配慮する一方で、地域社会も新型コロナウイルスの経験から大きな学びを得てより安心な環境を作っていけるように、今年も取り組んでいきたいと考えています。何卒よろしくお願い申し上げます。

大学病院
お知らせ

悪性中皮腫(胸膜以外)に対する医師主導治験を開始 ～新たな治療の開発をめざして～

兵庫医科大学病院は、2020年10月1日、「ONO-4538(ニボルマブ)の悪性中皮腫(胸膜を除く)を対象とした第2相医師主導治験」の治験対象者の募集を開始しました。

悪性中皮腫の80%以上は胸膜に腫瘍ができますが、約20%は腹膜や心膜、精巣鞘膜などに発生します。胸膜中皮腫に対しては、一次治療をPC療法※)、二次治療をニボルマブ(遺伝子組換え)で行う治療法が承認されていますが、胸膜以外の悪性中皮腫に対しては承認された治療法がなく、現在は保険適応外で胸膜中皮腫に準じてPC療法を行っている状況です。

今回の医師主導治験は、腹膜中皮腫、心膜中皮腫、精巣鞘膜中皮腫など、胸膜以外の中皮腫を対象に、化学療法歴の有無にかかわらず、ニボルマブ(遺

伝子組換え)(治験識別記号:ONO-4538、小野薬品工業)による治療法を開発するために実施しています。これは、胸膜以外の悪性中皮腫に対しても、ニボルマブの有効性を検討しえる非常に有意義な試験です。

※がんに対する化学療法の1種。ペメトレキセドとシスプラチンの2種類を組み合わせた併用治療。



オンライン記者会見で発表する木島がんセンター長(呼吸器内科 主任教授)

医科大
お知らせ

文部科学省が管轄する ダイバーシティ推進の補助金事業に採択

兵庫医科大学は、2020年度文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」に応募し、採択されました。

当事業は、女性研究者をはじめとした多様な人材が、活発に研究活動を行える環境を整備し、優秀な研究成果の創出に繋げるための取組みなどを支援するものです。

本学では、女子学生比率が高いにもかかわらず、管理職の女性比率が低いことを課題とし、積極的な女性の上位職登用を促進するとともに、女性研究者が継続的かつ自律的にキャリアを形成し、真に優秀な人材が活躍するための風土および環境の構築をめざします。

具体的には、新たに「キャリア支援センター」を創設するとともに、ワークライフバランス環境の整備はもちろんのこと、役員・管理職への意識啓発や女性自身のエンカレッジメント、オンラインカンファレンスの構築をはじめとしたダイバーシティ環境の実現に取り組んでまいります。



ダイバーシティ環境整備の概念図

医科大
お知らせ

「ネット出願」を初導入 ～24時間出願可能で、より便利に～

兵庫医科大学は、今年度実施している2021年度入学試験にて「ネット出願」を初導入しました。2020年11月2日から専用サイトによる出願受付を開始し、「願書取り寄せ不要」「24時間いつでも出願可能」「入力情報の自動化」など、医学部受験生がスムーズに出願できる基盤を整えました。

また、それにより出願データを取りまとめる職員の業務負担が軽減し、効率的に運用できるようになりました。



大学WEBサイト
トップページのバナーからリンク



ネット出願専用サイトTOP

学校法人
イベント

2020年度 認定看護師教育課程 入学式を挙行

～手術の専門知識を備えた認定看護師へ～

2020年10月1日、「2020年度 学校法人兵庫医科大学医療育成研修センター認定看護師教育課程(手術看護分野)入学式」を挙行しました。

今年度も全国各地の病院で勤務する看護師が入学。8期生となった男女26名の研修生が手術分野の専門知識と技術を備えた認定看護師になることを誓いました。

当日は、鈴木医療育成研修センター長の式辞、入学生による入学宣誓、太城理事長やご来賓の兵庫県看護協会 成田康子会長、日本手術看護学会 石橋まゆみ理事長の祝辞があり、滞りなく式典を終えました。



8期生26名と法人関係者で記念撮影

ささやま
お知らせ

「丹波篠山市地域医療 関係者会議」を設置 ～地域一丸となった 医療体制を構築するために～

2020年8月11日、学校法人兵庫医科大学は丹波篠山市を拠点とする医療法人社団 紀洋会とともに、地域において質の高い医療・介護サービスを継続して提供していくための体制を検討することを目的とした「丹波篠山市地域医療関係者会議設置の要望書」を丹波篠山市長に対して提出しました。

これを受け、丹波篠山市は市、医師会、市民代表、紀洋会、および本法人からなる当会議を設置し、10月13日に第1回、12月3日に第2回の会議が開催され、本法人からは、公設民営化による岡本病院とささやま医療センターの統合案を提示しました。

医科大
お知らせ

受験生向けに 「WEB入試相談」を実施 ～自宅からPCやスマホで気軽に～

兵庫医科大学は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受験生向けにオンライン会議システム「Zoom」を用いたWEB入試相談を実施しました。

例年は、各地の進学イベント会場で入試課の職員が対面にて受験生の相談に対応していましたが、今年は、受験生のご自宅などからパソコン、タブレット、スマートフォンを通じて個別に相談していただく形式に変更。2020年6月24日から10月30日までのおよそ4ヵ月間、受験生からの入試や大学生活などに関する相談に本学入試部門のスタッフが応じました。



相談に応じる入試課職員

大学病院
お知らせ

人命救助で 警察から感謝状表彰

2020年10月初旬、看護部で勤務する助産師の久保詩菜さんと看護助手の宮島佐知子さんが、武庫川で溺れそうになっていた方を助け、10月24日に兵庫県甲子園警察署から感謝状を贈られました。

また、この表彰の様子は10月26日に読売テレビWEBニュースにも掲載されました。



阪上病院長と丸山看護部長に報告する久保さん(右から2番目)と宮島さん(右から3番目)

大学病院
お知らせ

特別病棟の室料を 一部値下げ ～より気軽に入室いただくために～

2020年11月1日より、1号館12階特別病棟の室料の一部を改訂しました。特別室Aおよび特別室のBの料金を値下げし、患者さんにより気軽に入室いただくことを目的としています。詳しくは下記の表をご覧ください。



値下げした特別室A

	旧・料金		新・料金
特別室S	44,000円 / 日		変更なし
特別室A	33,000円 / 日	➡	28,600円 / 日
特別室B	27,500円 / 日	➡	25,300円 / 日
特別室C	24,200円 / 日		変更なし

医科大
イベント

「2020年度白衣授与式」を挙行 ～新たなステージへの決意を胸に～

2020年11月12日、教育研究棟201講義室において、「2020年度白衣授与式」を挙行しました。

各講座の教授から授与された白衣に袖を通し、医師の職業倫理を示した「ヒポクラテスの誓い」を唱和する5年次生たちは、晴れやかな表情を見せながらも、新たなステージへ臨む決意をのぞかせていました。

さらに本年度は、特別記念講演として、神戸市立医療センター中央市民病院の富井啓介副院長・呼吸器内科部長により「COVID-19 パンデミックとの遭遇」と題して、今年ならではの内容でご講演いただきました。



教授から白衣授与



ヒポクラテスの誓いを唱和する在学生



富井先生による特別講演



講演を傾聴する在学生

医科大
イベント

オンラインセミナーを 続々開催 ～教職員間も対面回避～

学校法人兵庫医科大学では、対面形式によるコロナウイルス飛沫感染を防ぐため、学外者とはもちろん、教職員間のセミナー・研修会もオンライン化が進行しています。

2020年11月4日には、兵庫医科大学の研究の更なる活性化を目的として先端医学研究所が主催する「第7回兵庫医科大学先端医学セミナー」をオンラインで初開催。また、12月5日には、育児中の教職員を支援する「ママさんパパさん交流会」をオンラインで実施しました。



先端医学セミナー



ママさんパパさん交流会

大学病院
イベント

患儿さんが「病室からトドにサインを出すツアー」に参加

2020年11月から12月にかけての4日間、兵庫医科大学病院の小児科病棟で「病室からトドにサインを出すツアー」を実施しました。このツアーは、城崎マリンワールド（兵庫県豊岡市）の子ども向けイベントに当院が応募して実現した企画で、参加した子どもたちは、小児科病棟のプレイルームから画面越しに声でトドのハマちゃんにサインを出し、30種の声に反応して動く様子を見て楽しみました。



PCの画面越しに呼びかけ



声に反応して動くハマちゃん

ささやま
お知らせ

「シトラスリボンプロジェクト」手作りグッズが贈呈 ～中学生から心のこもったプレゼント～

2020年12月3日、丹波篠山市立 西紀中学校の生徒会長と副会長がささやま医療センターを訪れ、「シトラスリボンプロジェクト」の応援グッズとして、同中学の生徒が手作りしたバッジやストラップを贈呈してくださいました。

シトラスリボンプロジェクトとは、新型コロナウイルス感染症の患者や医療従事者への差別・偏見をなくす取り組みです。「ただいま、おかえりって言いあえるまちに」をコンセプトに愛媛県で発祥し、現在は全国的にこの活動が広がっています。

このシトラス色のリボンは「地域・家庭・職場など」を示す「三つの輪」を作るようなデザインで作成され、職員への応援メッセージが手書きで記入されていました。中学生からの心のこもったプレゼントに、職員一同、元気を頂戴しました。



西紀中学校の生徒会長・副会長と



贈呈されたシトラスリボングッズ

医療大
イベント

今年はオンラインで「WEB入試対策講座」を公開

兵庫医療大学は、毎年12月に来場型イベントの入試対策講座を実施していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年は「WEB入試対策講座」と「WEBオープンキャンパス期間限定企画」をオンラインにて開催しています。（12月13日から1月12日までの約1ヶ月間実施）

受験生は事前に申し込み、大学から配信したURLから限定動画を閲覧いただきました。

「WEB入試対策講座」では、大手予備校講師による「英語」「化学」「生物」「数学」の受験勉強対策の限定動画を配信し、「WEBオープンキャンパス期間限定企画」では、各学部学科の教員や在学生が、授業や実習、めざす職業について話す限定動画を配信しました。



「WEB入試対策講座」で公開した入試Q&A動画

医科大
お知らせ

悪性中皮腫になりやすい遺伝子変異を発見 ～著名な国際医学雑誌に掲載～

2020年12月14日(米国・東部標準時;日本時間15日)、遺伝学の吉川良恵講師、江見充特別招聘教授らの研究論文が著名な国際医学雑誌「米国アカデミー紀要(PNAS:Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America)」に掲載されました。

日本、アメリカ、トルコの3カ国共同研究で、悪性中皮腫になりやすい遺伝子変異を発見し、その易罹患性に関する機序を調べた研究です。

吉川講師は次世代シーケンスによる塩基配列解析を担当し、悪性中皮腫を多発するトルコおよび米国の2家系の悪性中皮腫患者がそれぞれ片アレルBLM遺伝子に機能喪失型変異を持つことを見出しました。

【論題】

Heterozygous germline BLM mutations increase susceptibility to asbestos and mesothelioma

【掲載誌】

「米国アカデミー紀要(PNAS)」(14 December 2020)

今後の課題

現在ハワイ大学では、米国ネバダ州住民のゲノムDNAの塩基配列解析を実施しています。ネバダ州はエリオナイトというアスベスト様鉱物を含む鉱床があり、住民は慢性的暴露による悪性中皮腫を含む腫瘍発症率が高いことが分かっています。悪性中皮腫易罹患性遺伝子に生まれつき変異を持つ住民に対しては、カウンセリングを実施し、定期的な検診を実施することにより、早期発見できるよう研究しています。

日本においても、大規模ゲノムDNA塩基配列解析の広がりにより、将来の疾病リスクを予測し、対策を打つパーソナルメディスンに向かうことが望めます。

遺伝学 講師
吉川 良恵



大学病院
お知らせ

病院職員が「病院経営管理士」に認定 ～円滑かつ積極的な病院運営を実行するため～

2020年10月23日、兵庫医科大学病院 病院事務部の永井 大樹課長補佐が、当院として小寺 斉人病院事務部長に続き、二人目となる「病院経営士」に認定されました。

本資格は、病院の管理運営を円滑かつ積極的に実行する能力と適応力を備えた人材を養成することを目的として2009年に創設されたもので、医療関連科目から経営管理科目まで39科目49単位をレポート・スクーリング・試験により習得し、病院経営に係る論文を提出して資格認定となります。

2年間の課程において、病院経営の細部にわたる知識と演習を通じた実践力を学ぶことができるとともに、全国各地から熱意を持った同期と一緒に学ぶことで絆が深まり、卒業後も情報交換や合同勉強会等で互いに研鑽を重ねる関係が継続します。

資格取得者の中には、医師、看護師、医療技術職が増えてきており、また病院経営を先進的に実践している医療法人においては、幹部職員への登用に本資格を必須とすることなど、病院経営管理士に期待される役割の大きさが増えています。本法人も本資格取得者が中心となり、積極的な病院運営を行ってまいります。

全課程を修了し、病院経営管理士の認定を無事受けることができましたが、この資格は認定された後こそが真価が問われます。この機会を与えていただいた法人また同僚に感謝し、得た知識と人脈を武器に兵庫医科大学病院の経営、運営に貢献することで、病院経営管理士の存在が意義あるものと認めていただけるよう誠意努力する所存です。

病院事務部 管理課
課長補佐
永井 大樹



医科大
お知らせ

オンライン講義に対する医学部生の本音を調査 ～アフターコロナも見据えた教育方法を模索～

兵庫医科大学は、コロナ禍に導入したオンライン講義のアフターフォローを行うべく、医学部の全学生を対象に、「2020年前期のオンライン講義に関するアンケート」を実施しました(※)。

本アンケート結果によると、オンライン講義視聴で良かったことは「見たい時間に視聴ができる」「自分のペースで学習できる」「繰り返し視聴ができる」などの意見が上位に。一方、オンライン講義視聴で悪かったことについては、「ネット環境に左右される」「孤立感を感じる」「集中力が続かない」などの声が多くありました。

本学では、4月の緊急事態宣言以降、臨時的にオンライン講義を導入しましたが、個々の学習面での影響などを考慮し、2020年6月末より全学年で対面授業を再開。徹底した感染対策を講じることで、実習などが多い医学部生の学習環境を維持確保してきました。今後は、アンケート結果なども踏まえ、「対面授業とオンライン講義の併用」など、アフターコロナも見据えた新たな医学教育の手法を模索していきます。

※調査期間:2020年9月14日～9月30日 調査対象:医学部1～6年次生 698名、有効回答:453 方法:大学のインターネットシステムを活用、全5問

アンケート結果 (一部抜粋)

Q オンライン
講義視聴で
良かったこと は？

1位	見たい時間に視聴できる	76.2%
2位	自分のペースで学修できる	69.1%
3位	繰り返し視聴ができる	68.2%
4位	効率よく学修できる	38.6%
5位	集中できる	29.8%
6位	聞き取りやすい	16.6%
特にない		6.8%

1位	ネット環境に左右される	36.0%
2位	孤立感を感じる	28.9%
3位	特にない	26.5%
4位	集中力が続かない	23.6%
5位	課題が多い	18.3%
6位	質問しづらい	17.9%
7位	計画的な勉強がしにくい	13.9%

Q オンライン
講義視聴で
悪かったこと は？